

解答例

最も終止感を感じさせるコードはC 次へつながる感じが強いのはFとG

この設問を解く鍵はP74で解説した主要3和音の機能にあります。ここで、“Cはコード進行の最初や最後に使う”と書きました。では、Cを先頭にしたコード進行を作って聴き比べてみましょう。例えばC→F→CとC→F→Fです。すると、前者の方が終止感を強く感じることを実感できると思います。

このように主要3和音でコード進行を作って、その響きを比べてみてください。するとFやGを最後に置くと次につながる感じが強くなるのがわかるでしょう。さらにC→G→CとC→F→Cでは、前者の方がより強い終止感を得られることがわかると思います。

あとは主要3和音の各構成音と共通の音を含む分数コードを、各主要3和音と置き換えて試してみるとよいでしょう。その結果、筆者は以下のように分類しました。

㊸終止感の強いコード：C、C/E、C/G（←G/Cは誤表記）

C/EとC/G（←G/Cは誤表記）はCと同じ[ド・ミ・ソ]で構成されたコードなので、Cと同じく終止感が強くなります。

㊹次へつながる感じのコード：F、G、F/C（←C/Fは誤表記）、F/A、G/D、G/B（←B/Gは誤表記）、Dm7

F/C（←C/Fは誤表記）とF/AはFと同じ[ファ・ラ・ド]で構成されたコード、G/DとG/B（←B/Gは誤表記）はGと同じ[ソ・シ・レ]で構成されたコードです。またDm7は[レ・ファ・ラ・ド]でFとGの両方に共通する構成音を持っているため、やはり次へつながる感じがします。

㊺終止感と次へつながる感じの両方があるコード：Em7、Am7

Em7は[ミ・ソ・シ・レ]でミとソはCと共通しているため終止感がありつつ、Gと共通するシとレもあるので次へつながる感じも持っています。Am7は[ラ・ド・ミ・ソ]でドとミとソがCと共通しているため終止感があります。しかし、Fと共通するラもあるため次につながる感じもするコードです。